



**北海道大学公開講座「人と環境が抱える難問～その解決の最前線～」
祝日（海の日：7月20日）開催について（お知らせ）**

開催概要：「人と環境が抱える難問～その解決の最前線～」の共通テーマのもと、北海道大学の8人の研究者が様々なテーマでお話しをする公開講座は、7月2日（木）にスタートしました。毎回、受講者による熱心な質疑応答が行われています。通常、平日夕方に開催している講義を、今回は7月20日（月・祝）の昼間に、「平和は可能かー日本の安全保障を考えるー」と「エボラウイルス研究の最前線」の2講座を実施します。今まさに国会で「安全保障法制」の審議が行われ、韓国で人獣共通感染症であるMERSの深刻化が伝えられているところであり、皆様の関心に応える内容となりました。当日は公開講座受講者限定スペシャルランチ（50食：先着順、事前申し込み）を大学生協が販売します。休日を利用して、特に社会人の皆様の受講を歓迎します。キャンパスの散策も同時に楽しんでいただきたいと思います。

開催趣旨

日程：7月20日（月・祝）13:00～14:45 及び 15:15～17:00（2講座）

会場：北海道大学学術交流会館小講堂（札幌市北区北8西5）

主催：北海道大学

参加対象・募集人数：18歳以上の方であればどなたでも受講できます。定員250名

受講料：1講座のみは1,500円、2講座続けて受講する場合は3,000円

言語：日本語

講義題目と講師：

13:00～14:45 「平和は可能かー日本の安全保障を考えるー」 法学研究科 教授 遠藤 乾

問題や紛争はたやすく生起し、逆に平和は難問のままです。この講義では、現代の日本に引きつけ、どのように日本の安全保障を考えていくべきか、道すじを整理します。

15:15～17:00 「エボラウイルス研究の最前線」 人獣共通感染症リサーチセンター 教授 高田礼人

エボラウイルスはヒトを含む霊長類に重篤な出血熱を引き起こす病原体です。エボラウイルスの病原性や自然界における生態解明及び予防・治療法開発に向けた研究を紹介します。

申し込み期間・方法：

以下の窓口へ直接、または電話でお申し込みください。

札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構 1階6番 公開講座窓口

北海道大学学務部学務企画課（教育支援担当） TEL:011-706-5567（直通）

※詳細は、下記のウェブサイトをご覧ください。

http://educate.academic.hokudai.ac.jp/center/koukaikouza_2015/h27_koukai.htm

※スペシャルランチ

公開講座受講者を対象としたスペシャルランチを販売します（1,000円、50食限定。学生食堂で人気の牛とろフレークやお刺身などがつきます）。

北海道大学生協が中央食堂（北区北11条西8丁目）で、11:00～12:30に提供します。

（事前の申し込みが必要です。7月13日（月）までに、011-706-6069にお電話し、お申し込みください。）

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構 高等教育研究部門

准教授 三上 直之 TEL：011-706-5306, 事務室（担当：高橋・堀北） TEL：011-706-6069